

2022年8月31日

世田谷プラットフォーム協議会 御中

東京農業大学

「【地域の教育支援活動】世田谷区立教育総合センターSTEAM 教育事業」実施報告

世田谷区の幼児・児童・生徒およびその保護者を対象とした「【地域の教育支援活動】世田谷区立教育総合センターSTEAM 教育事業」において、「五感で学ぶ生き物のヒミツ～アメリカザリガニ SDGs～」を8月17日に実施した。

本取組は、世田谷プラットフォームが地域活性化を目的に、世田谷区及び産業界と共同で企画の上、実施する事業で、区内6大学がそれぞれもつりソースを活かし講座を展開している。

今回の講座「五感で学ぶ生き物のヒミツ～アメリカザリガニ SDGs～」は、東京農業大学 教職・学術情報課程の武田晃治教授が講師として小学5年生～中学3年生を対象に開講し、当日は23名もの児童、生徒が参加した。内容としては、環境科学教育として身近なアメリカザリガニを題材に、外来種問題についての現状を知るだけでなく、問題の本質は何であるのか、人間と生物との共生について考える講座を展開。身近なアメリカザリガニが将来の食料問題に向けた環境負荷低減の有用資源になる可能性があることを児童・生徒らに伝えたほか、ザリガニの色素分離実験にも取り組み、座学だけでなく体験型の講座として、参加した児童・生徒は真剣な眼差しで講座に取り組んでいた。講座終了後も武田教授に質問するなど意欲的な参加者が多かった。

当日の共同運営参加者は以下の通り。

東京農業大学（教職・学術情報課程 武田晃治教授、補助学生3名、企画広報室 齊藤孝太郎）
地方自治体・産業界：世田谷区教育委員会、株式会社そごう・西武

当日の様子

